

# 実施報告書

件名（事業名）	「災害情報伝達に関するセミナー」
実施年月日	令和2年2月5日（水）13時30分 ～ 17時00分
実施場所 （会場）	（会場名）国際ファミリープラザ 2F ファミリーホール （所在地）鳥取県米子市加茂町2丁目180番地
主催者	中国情報通信懇談会、中国総合通信局、中国地方非常通信協議会
後援者	鳥取県、島根県
協賛	
実施内容 （参加人員）	<p>■ 目的</p> <p>毎年猛威を振るう自然災害の発生を踏まえ、自治体が発表する避難情報等を多媒体により伝達する仕組み、ICT利活用により住民が災害の切迫度や身の回りの危険度を適切に把握し避難の必要性を認識できる仕組み等について、先取的な取組を実施している国、民間企業等から事例を紹介し、防災・減災意識の更なる高揚を図ることを目的に、米子市でセミナーを開催しました。</p> <p>■ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 基調講演 「災害情報と災害文化」 関西大学社会安全学部社会安全研究センター長 特別任命教授 河田 恵昭 氏</li><li>○ 講演Ⅰ 「くらしと防災（情報） ～日々の生活に馴染んでいますか～」 鳥取地方気象台長 川上 徹人 氏</li><li>○ 講演Ⅱ 「防災分野における5Gの利活用について」 総務省 電波部移動通信課 新世代移動通信システム推進室 課長補佐 豊重 巨之 氏</li><li>○ 事例発表1 「Yahoo!防災速報アプリの災害時情報提供について」 ヤフー株式会社 メディアカンパニー メディア統括本部 堤 浩一朗 氏</li><li>○ 事例発表2 「LINEを使った防災への取組み」 LINE株式会社 公共政策室 室長 福島 直央 氏</li><li>○ 事例発表3 「災害時におけるDISAANA、D-SUMMの活用」 国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター応用領域研究室 大竹 清敬 氏</li><li>○ 事例発表4 「TVを利用した自治体緊急放送」 一般社団法人情報メディア総研 代表理事 伊永 隆史 氏</li></ul> <p>■ 参加人数 120名</p>